

### 問 棕鳥対策イオンテープを 試験的使用に問題はないか

上 田 毅 議員(一新会)

問 いじめ問題の現状を問う。実態を把握しているか。早期に気づき、未然に防げるよう学校・保護者・児童・教委との連携を深めることが大切。  
教 育 部 長 嫌がらせの報告が一件、学校指導により解決し、その後も配慮している。園生徒の不登校及び教師の長期欠勤について問う。  
教 育 部 長 平成24年度の不登校者数は小学生16名、中学生72名、休職・休養教員各2名である。

府内の体罰は、教員名まで開示している。私立校は、地位、利益を害すると開示しない。府知事は「拒否する私立校に圧力をかけてでも要請したい」と述べた。他市と連携し、要請しては。

教 育 部 長 体罰一件があり、文書訓告決定がなされた。園棕鳥について。対応策はどのように進んだか。大切な

ことは、市民に我慢をさせることではなく、我慢強い対応をすること。マジックイオンテープは、安価で効果があるので試験的に利用できないか。



棕鳥対策のために電線に取り付けるテープ(製品)

効果があるか

先進事例を収集し、試験的に使うことは問題はない。

問 近鉄興戸駅西側のまちづくりについて。ワークシopp概要版は実現されるのか。防賀川工事状況を問う。道路の狭さや交通事故、安全面の苦情が多い。府道八幡木津線は、府に早急な歩道確保の要請を。防賀川整備工事は、計

画どおりに進んでいるのか。  
建 設 部 長 完成時期は明確ではないが、切下げ工事が最優先であると考えている。  
問 興戸地区通学路のカラ塗装はいつ頃施行されるか。通学路の安全確保として、優先していくべき。

建 設 部 長 八幡木津線のカラ塗装を現在進めている。

### 問 暴排条例制定の見通しは 年内制定目指し取り組む

奥西伊佐男 議員(一新会)

園府の暴力団排除条例の施行により、各自治体で条例制定が進んでいるが、市民が平穏な生活をおくるため、本市の条例制定に向けた今後の見通しと見解を問う。



府が伝える暴力団排除条例のパンフレットと記事

市 長 十分検討を重ねている。より実効性のある条例制定を目指し、時期は年内をメドにしたいと考えている。  
問 新設される特別養護老人ホームの概要、待機高齢者や多くの課題に対し、今後の本市の取り組み姿勢を問う。  
① 国が建設を進めている「サ

① 「サ高住」については介護保険施設でなく、一般住宅の位置付けである。アンケートでも自宅居住希望者が多かった。在宅サービスの充実に

力を入れている現状である。  
問 職員による来庁者への窓口案内サービスは今後も継続するのか。また、庁舎玄関の案内板は一部に文字が小さく見づらい画面がある。改善を。  
総 務 部 長 今後、正職員に再任用職員等も加え、接遇実

### 問 児童館を小学校校区に 整備 北部・中部・南部ごとに整備

青木綱次郎 議員(共産党)

問 本市には児童館が現在4カ所あり、北部地域は大住児童館だけ。松井山地域から遠く離れており、小学校低学年など小さな子どもには利用しにくい。子どもたちにとって身近で気軽に遊びに行ける施設として、各小学校区に一つ、児童館を設置することを求める。  
市 長 総合計画に基づいて北部、中部、南部の3地域に分けて進めている。  
健康福祉部長 お子さんや保護者のニーズに100%応

えているという認識はもっていない。課題としては十分認識している。  
問 松井山地域から大住児童館を利用しやすくなるため、松井ヶ丘幼稚園辺りから同方面へ遊歩道の整備を。  
建 設 部 長 地元自治会からも要望されており、都市の集約化を図る観点からも必要なネットワークの一つと考えている。夜間の安全確保の課題もあることから、引き続き検討していく。  
問 太陽光パネル設置補助金

申請の際に必要な納税証明書添付手続きの簡略化を。  
企 画 策 略 部 長 市民サービス向上のため、補助金申請用の証明書を無料で発行する方法、申請受付担当課が了解を得た上で税務課に必要事項を照会する方法などで対応を進めている。今後、簡素化に向けた適応事務を拡大していく。  
問 JR松井山手駅への、障がい者送迎用一時停車場設置の進捗状況を問う。  
建 設 部 長 平成25年度に着工できるよう地元自治会や関係機関と調整を図りながら進めてい



ベンチが設置されていない JR松井山手駅東側ロータリー

### 問 小児救急電話相談の周知徹底を 一層の周知に努める

河田美穂 議員(公明党)

問 多種多様な消費者トラブル被害を相談できる消費生活相談について今後の方策は。  
市 長 現在の体制を堅持し、市民への啓発に努めるとも



子育てマップに掲載されている小児救急電話相談 #8000 の案内として検討。  
問 保育所の保育時間の延長や休日保育を実施すべき。  
健康福祉部長 今後予定しているアンケート調査において保育時間に関するニーズについて

調査し、動向に十分注意していく。  
問 子どもの緊急時の小児救急電話相談(#8000)を周知徹底すべき。  
健康福祉部長 一層の周知に努めたい。  
問 節水対策のため、庁舎トイレに「トイレ用擬音装置」を設置すべき。  
総 務 部 長 節水は非常に大事なことで、費用対効果も踏まえて、十分検討していく。  
問 地球温暖化防止のため「クールアースデー」の本市の取り組みと周知徹底はどのようにするのか。  
経 済 環 境 部 長 夏至・七夕の日、お盆にライトダウンの日を設定、さらにノー残業デーを追加。広報やホームページで参加を呼びかける。

に、職員の研修などにより、スキルアップを図っていく。  
問 気象庁の緊急地震速報を学校や公共施設内放送に連動させ自動的に放送しては。  
危機管理監 施設内放送との連動方法やその運用について効果的な方法を検討する。  
問 熱中症予防対策として公共施設にのぼり旗などで示し

避難所としてはどうか。  
経 済 環 境 部 長 平成24年の対策に加え、北部・中部住民センター、図書館も含めて、ペンギンマークを掲げて、クールスポットを増設する。  
問 保育所に育児休業明け入所予約制度をつくるべき。  
健康福祉部長 現状での導入は難しいが、将来的な子育て支援策の一つとして検討。

問 保育所の保育時間の延長や休日保育を実施すべき。  
健康福祉部長 今後予定しているアンケート調査において保育時間に関するニーズについて